

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 29 年 9 月 29 日

嶮山小通信

10 月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

秋空に伸びゆく子

校長 山口昭代

10月が目の前にやってきました。

プールの水は、気付かぬうちに濃い緑色になって、夏休みだったあの日々が、はるか遠くに過ぎ去ったことを今さらながら実感します。

さて、このところ、運動会はもちろんですが、10月17日に実施予定の横浜市小学校体育大会を目指して、6年生の陸上練習が始まっています。6年担任とともに応援指導の先生方に見守られ、また、國學院大学陸上競技部のインターンシップの大学生の指導を受けて、子どもたちは早朝から元気いっぱい運動を楽しんでいます。

また、同じく「嶮山バンド」の活動も開始しました。4・5・6年生の参加者は59名を数え、演奏曲数も5曲に増えて、難易度が高くなったはずですが、子どもたちはやる気にあふれています。

運動会プロジェクト委員の6年生を中心に、各係の責任ある仕事がこれから展開します。また、プログラムや赤白マスコットが決定し、応援団やリレー練習が始まり、忙しそうに行き交う6年生の姿が学校中で見られる季節となります。

一生懸命な6年生の態度や表情や言葉を見聞きして、下級生は、憧れや夢や未来に思いを馳せるようになっていきます。「次は自分が！！」と、がんばる気持ちのバトンが渡されていきます。そういう嶮山小学校の力強い潮流を、今に至るまで脈々と継承し、支え続けてくださった多くの先生方や保護者のみなさまや卒業生やこのまちの方々に、改めて敬意を表します。運動会準備の季節にこそ「KENZAN STYLE」が健在であることを、たくさんの人々に知っていただきたいと感じずにはられません。そして、これら子どもたちの意欲を支える、自分を信じる気持ち。自分の力を思う存分表現したいという気持ち。そして誰かの役に立ちたいとする気持ち。それらを学校はしっかりと受け止めたいですし、家庭は、小さな背中をいつでも笑顔でちょっと押してあげてほしいと願います。

「縄跳びの季節」にもなり、短縄・長縄、それぞれのブームがやってきました。運動会や、なわとび検定に向けて、夢中で練習する子どもたちが増えてきました。技と回数とその両方とを目標にがんばる子どもと、がんばる子どもを応援する教師。これは教育の原点であるなあと感じます。いろいろな場所で縄跳びに励む子どもたちを見かけられる方がいらっしやると思います。どうか言葉をかけてやってください。「がんばってるね」「じょうずになったね」「一生懸命だなあ」・・・あたたかい言葉のシャワーにふれて、子どもたちが、いわゆる自己肯定感や効力感を育む学校や家庭や地域に包まれていること、それが私の自慢です。

保護者、地域の皆様、運動会には子どもたちへの熱い応援を、ぜひお願い申し上げます。